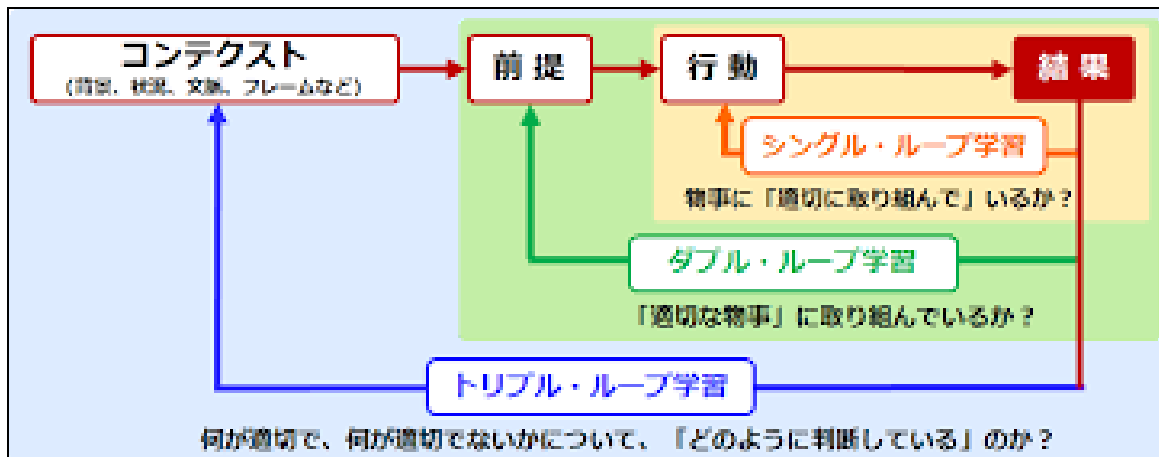


チェックイン

ゴーツーキャンペーンの問題点から学ぶ！
 GOTO トラベル
 GOTO イート
 地域振興券

システム思考



思想——自己管理する。(決して他人に向けない)

目的・目標達成する為に学ぶ——必要な優先順位をつける為に自己管理する。
 倫理・道徳は自己管理することによって、自己の行動を制限する。
 ……何が、大切なのか？わからなくなる。(優先順位が)

リーダーシップとは？

陣頭指揮ではない！⇒迷いを晴らすこと
 単なる率先垂範ではない⇒不確かな未来に一步が出る勇氣
 判断力・洞察力・決断力

Y 理論の人間観に立って自己を管理		X 理論の人間観に立って部下を管理	
使命・バリュー主義	自己組織主義	温情主義	専制主義
貢献・奉仕	発憤・成長	妥協・寛容	統制・監視
人間個人の内発的動機により 企業の発展に尽くし、自己実現を遂げる		人間を企業の道具と考える価値観	

リーダーの実践的課題の5項目

1. 現状打破——現状に満足しない！学習・革新し続ける
2. 価値観の共有——リスクに対し主体性をもって撰ぶ
3. 協力育成——粘り強くあきらめない・創意工夫
4. 率先垂範——パラドックスに向き合う
5. 支援激励——価値観を重く見る

統合の思想が変える企業人としての行動特性(179p)

第1「相手本位」 自己本位から相手本位(顧客満足度へ)

⇒相手を中心に、自分と相手との**関係性を見る**！(思考の軸足が相手に置く)
相手の立場になり「顧客にとって何が必要なのか」を**一緒に考える**ようになる！

第2「内容本位」 表面本位から内容本位(提案型営業へ)

⇒**本音で対立を乗り越え**て信頼の絆を創る！ 中身で付き合う(建前は止す)
自我から**自己の世界、関係性**からものごとを見通す！

第3「先行本位」 現在本位から先行本位(未来思考へ)

⇒未来から、現在の在り方を考える！(過去の延長線上には、未来はない)
未来に軸足を置いた思考。未来のために今我慢している苦しみは、むしろ喜びだ！辛さに逃げない

第4「逆境本位」 順境本位から逆境本位(成長思考へ)

⇒逆境こそがもの凄い**価値を生む源泉**である！(成長の条件である)
不幸の中に幸せがある！「**苦しいことが、自分にとってどんな意味があるのか？**」真剣に考える！

統合の思想に対する人間の確信に価値がある！(185p)

⇒目先の行動特性を真似しても、偽善である！
行動特性は結**「果」**。本質的問題の原**「因」**、それとそれをどう捉えるかという**「縁」**が大事である！

⇒アイデンティティの確立⇒使命感・信念が出てくる！

統合の思想が自分に必要であると心から確信できた時から、結果として、絶対に相手本位・内容本位・先行本位・逆境本位にしか物事に対して考えられなくなるのです。⇒パラダイムシフト(価値観の転換)

高い価値観と低い価値観

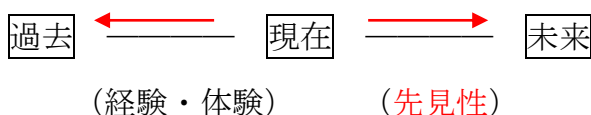
相手本位 ……**自分本位** ……顧客満足
先行き本位 ……**現状本位** ……シナリオ・戦略作成
逆境本位 ……**順境本位** ……ピンチがチャンス、問題を問題と考える
内容本位 ……**表面本位** ……相手の本質を捉える

透明性……自分の価値がわかっている。誰からもわかりやすい。

順応性……成長する人、自分を変えていける人、達成意欲が高い(目的・目標)
頑固な人は成長しない。

人間の価値創造の条件

自発性…自己の独創的成果(個性がでてくる)
主体性…責任性に繋がる(だから必死にやる)
……二つ揃うと自己尊厳につながる。自己の可能性に対して確信できる。



アイデンティティの確立とは人格完成である！

参考テキスト(出典):企業再構築の仕掛け バリュース・マネジメント 竹内日祥 現代書林 2006年6月

能力:客観的合理性・・・個人主義者・・・分離思考＝客観的(分析)目標達成・・・能力・技術が必要
思想:主体的責任性・・・共同体主義・・・統合思考＝主体的(洞察)目的達成・・・思想・哲学が必要

統合思考	分離思考
全体性思考・関係性思考	部分性思考・実体性思考
主体的・直観的・洞察思考	客観的・合理的・分析思考
21世紀脱近代複雑系「システム思考」	17世紀近代古典科学「デカルト思考」

===アイデンティティの確立が自己の価値を高める＝最終目標「人格完成」(126p)

アイデンティティの確立とは人格完成である(140p)

「自己概念」=自己を認識する主体です。

「自己」と「他者」との相互に**主体的な関係性**が、今、ビジネスにとって最大の課題

我々は、「自己」の中に自分が心から信じられる「自己」を見出せるか。

この命題の「解」が今、求められています。

我々は、真の自分自身、即ち**究極の「自己」**の存在を確認し、この「自己」の中から充分にして、且つ完全に信じられる「自己」を見出した時に、始めて自分を信じる事が出来るに至るのです。

次に我々は、その同じ「自己」を自分以外の「他者」にも見出せるか。

そして、その他者自身もまた「自己」の中に信じる事の出来る「自己」を見出すことが出来た時、我々もまた、改めて心からその「他者」を信じる事が出来るのです。

そのような私と、その他者との相互に**主体的な関係性**を通し、その相手もまた。私を心から信じる事の出来る明確な根拠を「自己」の中に見出すことが出来るのです。

このような人間どうしの複雑な関係性が含む、**普遍的な法則性**につき、人間どうしは互いに真摯に学ぶべきです。

それこそが、現代のビジネスの現場を通して知らされる**経営人間学**にとって**最重要な課題**なのであります。

リーダーが持つべき4つの勇氣⇒自己アイデンティティの確立

- ① 現状の自己にとっての価値観、行動様式、思考態度に満足せず、更に**自己のあり方を求める勇氣**
- ② 自己の現状を革新し、自分の問題や課題を率直に認め、**自己と向き合う勇氣**
- ③ 他人の意見や考え方を素直に学び、**自己の足らざるを認め素直に学ぶ勇氣**
- ④ 今すぐ、ただちに自己と向き合う為の小さな第一歩の**行動を踏み出す勇氣**

人間の思考モード	
自我人格	自己人格
仮面をつける自分	素顔、真顔の自分
部分的、自己主張の思考	全体的、自他共存の思考
客観的、合理的思考	主体的、関係的思考
分離的自我	統合的自己

参考資料(竹内日祥上人 2012年情報歴より) 別途

- ① 「関係性思考が、人間の本当の幸福を創造する」
- ② 「経営トップに必要な5つの思考性と行動性について」

ビジネスに効く中国古典 「論語」人間観察力の極意

荘子 饒舌に語られる「達観の思想」

物事にとらわれない達観した生き方をよしとした。

又「老子」は寡黙であるのに対し、「荘子」はふんだんに寓話を引用して、饒舌に自説を展開している



のびやかで奔放な語り口が魅力(92p)

「道は人知の及ばない広大無辺な存在である。そういう大きな観点に立てば、善だ悪だ、是だ非だと騒ぎまくっても、本質に違いがあるわけではない。ところが世間の人々は、世俗の価値観にわざわざされて、つまらぬことにこだわり、あくせくと生きている。そんなことにはとらわれないで、もっと伸びやかに生きていきませんか」

魏王への戒め「蝸牛角上の争い」

「朝三暮四」に惑わされるな

「井の中の蛙、大海を知らず」

北海若曰く、井蛙には以って海を語るべからずは、虚に拘ればなり(秋水篇)

創作 続き＝「されど井の中を知る」・「されど空の青さを知る」

「機会あれば必ず機事あり、機事あれば必ず機心あり」

…からくり道具を使うようになると、たくらみ事をするようになり、やがて心までそれに振り回されていく
効率ばかりでは人間性はいびつになる

「人はみな有用の用を知りて、無用の用を知るなきなる」

・・・無用こそ有用」という逆転の発想

敵が退散する「木鶏」をめざせ

昭和の名横綱双葉山 69連勝で敗れたその夜、「フレイマダ、モッケイニアラズ」という電報を打った。

・・・致知出版 全国各地で木鶏会